

内科専門医研修プログラム (静岡医療センター)

1 はじめに

静岡医療センターは、駿東田方二次医療圏の中核病院の一つとして、循環器・消化器・脳神経・リウマチ・総合内科を軸として、多くの急性期疾患および難病医療を手掛けており、救急受け入れも地域のトップクラスを常に維持しています。後期研修は、これらの医療を支えながら、総合診療および専門研修へ向けた研鑽の場を提供していく所存です。



プログラム統括責任者 静岡医療センター 診療部長（脳神経内科） 本間 豊

2 目的

初期研修を修了後、内科後期研修を選択した医師は、次に総合診療内科医あるいはその先の専門内科を目指すこととなります。いずれの選択をしても、総合的内科診療に必要な内科医としての考え方や基本手技は必須となります。よって、当院では急性期医療実践による考え方と手技を取得すると同時に、急性・慢性（難病）期疾患を担う複合型病院としての特徴を活かし、慢性（難病）疾患に対する考え方も取得することによるバランスのとれた内科医を育成していくことを目的としています。また、専門領域として不足している血液疾患などの分野に関しては、大学病院（聖マリアンナ医科大学または浜松医科大学）との連携をはかり、全ての内科分野の疾患を経験し、全ての内科領域疾患を習得した上で、地域に根ざした総合内科あるいは専門内科医を目指せる医師を育成します。

3 研修病院群

(1) 専門研修基幹施設

国立病院機構静岡医療センター

(2) 専門研修連携施設

聖マリアンナ医科大学病院

浜松医科大学附属病院

三島共立病院

裾野赤十字病院

4 専攻医受入数

3名

5 研修期間

3年間

6 研修計画（例）

静岡県駿東田方医療圏の中心的な急性期病院である国立病院機構静岡医療センターを基幹施設として、静岡県駿東田方医療圏、近隣医療圏および神奈川県にある連携施設（聖マリアンナ医科大学病院または浜松医科大学附属病院）・特別連携施設（三島共立病院または裾野赤十字病院）とで内科専門研修を経て超高齢社会を迎えた我が国の医療事情を理解し、必要に応じた可塑性のある、地域の実情に合わせた実践的な医療も行えるように訓練されます。研修期間は基幹施設 2 年間＋連携施設・特別連携施設 1 年間の 3 年間になります。

スケジュール例

1年目

静岡医療センター

循環器、消化器、脳神経、内科（膠原病、代謝内分泌など）、救急を4-6ヶ月を目処としたローテーションで症例を経験し、総合専門内科医に必要な症例数および手技を修得する。

2年目

3年目

特別連携施設（三島共立病院）にて3ヶ月の地域医療に加え、連携施設（聖マリアンナ医科大学または浜松医科大学）にて、不足している疾患分野での症例を経験し、修得する。

7 問い合わせ先

静岡医療センター 管理課職員係長

TEL: 055-975-2000 (代)

E-mail: 310-kanri04@mail.hosp.go.jp

8 「静岡県キャリア形成プログラム」における取扱い

(1) 領域、プログラムリーダー

領域：内科、プログラムリーダー：診療部長（脳神経内科） 本間 豊

(2) キャリア形成プログラム受入見込み数

「4 専攻医受入数」の内数：3名

(3) 具体的なコース

後期研修、後期研修後の7年間のうち4年間で医師少数区域または医師少数スポットで勤務

初期研修	後期（専門）研修	後期（専門）研修後
2年	3年	4年
県内病院	【基幹病院】 静岡医療センター（2年間） 【連携病院】 （4）に記載の医療機関 （1年間）	（4）に記載の医療機関

(4) 勤務する医療機関

二次医療圏	後期（専門）研修	後期（専門）研修後
賀 茂		<u>西伊豆健育会病院</u>
熱海伊東		
駿東田方	<u>三島共立病院</u> (3ヶ月)、 <u>裾野赤十字病院</u> (3ヶ月)	静岡医療センター、 <u>裾野赤十字病院</u> 、 <u>三島総合病院</u>
富 士		
静 岡		
志太榛原		
中東遠		
西 部	浜松医科大学医学部附属病院	

※下線は、医師少数区域、医師少数スポットに所在する病院

(5) 取得できる資格

日本内科学会専門医、循環器内科専門医、神経内科専門医、リウマチ内科専門医、
消化器内視鏡専門医

(6) 問い合わせ先

国立病院機構静岡医療センター 脳神経内科 本間 豊
homma.yutaka.cw@mail.hosp.go.jp